

# RX-78

～ to **X** people, who can **R**ealize your dreams and are **R**eliable. ～  
夢を実現し、信頼される未知なる（可能性を持つ）者たちへ

北海道中標津高等学校  
第78期一学年通信  
2024(令和6)年8月21日  
第11号  
文責 長谷川敏美

## 夏季休業がおわりました。

みなさんは夏季休業をどのように過ごしたでしょうか。講習や模試、部活動、オープンキャンパス参加などの進路活動、お盆もありましたのでお墓参りもできたでしょうか。

本日から通常の授業が再開となります。ここで気をつけてほしいことがあります。それは、  
**今週・来週の欠席（まずは本日来た皆さんはその調子でガンバロウ）**

もし、今週から来週にかけて欠席した場合、その欠席は何に起因したのかが問題となります。結論から言うと、

**夏季休業中の不規則な生活に起因する欠席ならば、それは「いけない欠席」です。**

これって、社会に出たときに繋がる話ですが、働いていて、ちょっとした休みのときに生活リズムを崩して、休みの後の勤務に支障が出るのはナイです。そんな人、信頼されません。夏季休業前に「不規則な生活」に関わっての指導は各学級からされています（生徒指導部からの文書には記載されています）。説明がなされているはずなのに不規則な生活をして支障が出ている人は、生活リズムを夏季休業以前の状態に戻してください。

夏季休業明け、時間を置かないで単元テストが重なってくるが見込まれます（金曜日にありますよ）。体調が十分整っていないのにテストに臨むのは、悪循環になりかねません。コンディションの調整を意識しましょう。

## 《保護者の皆様へ》

長期休業明けは、お子さんのコンディションが整いきっていないことが考えられます。生活習慣の立て直しを支えてくだされば幸いです。高校生ともなると活動範囲に幅ができ、様々な人との関わりを持つことが考えられます。お子さんの行動を見ていただきたく存じます。また、夏季休業中の課題ができていないことも考えられます。お声かけくださるとありがたいです。

学校としては、お子さんの高校生活を卒業まで全うするように働きかけているところではありません。お子さんのちょっとした生活の変化やお困り事などがあれば、学校までお知らせください。

《北海道中標津高等学校 0153-72-2059》

別件ですが、夏季休業直後に「保護者説明会」の案内を「楽メ」にて送信させていただきました。説明会は8月27日(火) 18:30～となっております。前日の2学年の説明会と間違わないよう、お気をつけください。お越しの際は、上履きを用意いただきたく存じます。

それと予告になりますが、来月中旬から「三者面談」を行います。追って案内いたします。

## 【8月の活動予定 22日～】

24日(土) 数学検定                      27日(火) 科目選択及び進路選択等保護者説明会18:30～  
28日(水) 第3回壮行会                30日(金) ごみ拾い活動

# 世間では「長期休業明け」からの不登校が多くなる？

と、表現に違いがあっても、上記の内容はよく言われていることです。理由は様々です。先に示した「不規則な生活」もそうですが、総じて言うと、

## 様々な環境の変化

ということになります。

開放的な雰囲気になったり、行動範囲が広がったりすることで「変化」は起こりやすいです。時間や行動の制約が少なくなるとできることが増えるわけですから、今までしなかったことへの取り組みや交流のなかった人との関わりが出てくるでしょう。それ自体は否定されるものではありません。しかし、今までしなかったことを始めてしまったために、もしくは、今まで関わりを持っていなかった人と関わってしまったために、「よろしくない方向」に進んだのであれば話は別です。

職業柄、学校の先生方はお堅いことしか言いません。あなた達にとって、

### 高校卒業まで、高校での学業（＝高校生活）が最優先です。

優先事項を間違った対応はやめましょう。それは、あなた達はもとより、保護者の方も望んでいないことでしょう。くれぐれも、学校から遠ざかるような行動は避けてほしいです。

「変化」が話題になっているので、もう一つ話します。

夏季休業中に、一緒に遊んだり、部活動で長時間行動を共にしたりすると、「思わぬ面」が見えることがあります。よほど受け入れられない振る舞いならば、今後、距離をとることも必要なのですが、関係が深くなればこそ見えてくるところ、それも「変化」と考えてみましょう。

それと、SNS等で言葉のやりとりをしている人は、そこに示されている言葉が「本物」なのか、十分確認をした上で考えたり行動したりしましょう。例えば、「けっこうです。」という言葉がありますよね。これは、話の流れによって、「よろしい。」という意味もあれば、「これ以上いりません。」という意味にもなります。肯定と否定、両方の意味を持ち合わせています。

SNS等で出てくる言葉で、はっきりしないことがあれば、まずは確認することが必要でしょう。曖昧な言葉を鵜呑みにして、悩んでも意味がありません。言葉が曖昧なほど、相手があなたの思っている内容で言葉を出したという保証がないからです。落ち着いた対応をしましょう。SNSの曖昧なやりとりが引き金となり、一人悩んで学校に来られなくなるというのも不登校の理由として挙げられます。周りは否定的にとらえていないのに、一人相撲のようになってしまうケースです。直接対面していても、言葉のやりとりは曖昧になることがあります。言葉のやりとりには、お互い十分気をつけましょう。

## 講習受講&模試受験の皆さんお疲れさまです。

暑さはそうでもなく(?)、何とか乗り切ったという感じでしょうか。講習内容に面を食らった人もいたかもしれません。今後も課外講習は、「実戦力の向上」をコンセプトにしていきます。普通の授業で分からないことや、講習を受けたとき授業の内容と関わっているのに理解できていない人は対応してください。ノートを見返すでも、問題集を解き直すでも、誰かに教えてもらうでも、何でもいいですから、そのままにしないことが大切です。勉強のやり方を探究してください。

模試を受験した皆さん、預かった問題と「解答の手引き」をお返しします。模試は¥3,000超のお金を掛けています。その価値は、「全体の中にどの位置に自分がいるのか測定できること」が大きいのですが、「復習」も大切にしてください。私は学生の頃、模試の復習ができなかったです(数少ない後悔?)。これができるようになると対応力が高まります。積極的に復習してみましょう。